

固有種の宝庫・日高山脈の花の名山と蝦夷開拓の歴史が息づく山道を歩く

アポイ岳登山と猿留山道ハイキング 2日間

2026年6月2日(火)~6月3日(水)

旅行代金 お一人様 **75,000円(6名以上)** **85,000円(4~5名)**

※現地発着でご参加希望の方はお問い合わせ下さい

●札幌駅から全行程ツアーリーダー同行 ●最少催行人数:4名(最大8名)

●食事:朝1・昼0・夕1 ●宿泊:アポイ山荘ホテル または同等クラス

●お一人部屋利用追加料金:10,000円(ご対応できない場合も有ります)



暫定行程表

サマニユキワリ

日	地名	行程	食事
6/2 (火)	札幌駅北口 アポイ岳 アポイ山荘ホテル	<p>6:45 札幌駅北口集合 = 〈日高自動車道〉 = 道の駅(コンビニ有り) = 10:45 アポイ岳登山口 … 旧道コース … 14:00 アポイ岳(810m／多彩な固有種が咲く花の名山) … 往路下山(天候・時間など条件が良ければ幌満お花畠コースを回ります) … 16:45 登山口 = 17:00 アポイ山荘ホテル</p> <p>●歩程:登り約3時間・下り約2時間</p> <p style="text-align: right;">【アポイ山荘ホテル・泊】</p>	— — 夕
6/3 (水)	アポイ山荘ホテル 豊似湖 沼見峠 猿留山道橋 アポイ山荘ホテル 札幌駅北口	<p>6:30 朝食、7:30 アポイ山荘出発 = 豊似橋 = 10:00 豊似湖(ハイキング開始)… 11:30 沼見峠(条件が良ければ眼下にハート型の豊似湖を一望)…往路戻り… 12:30 猿留山道分岐…猿留山道(なだらかな尾根を下ります)…14:00 猿留山道橋(ハイキング終了) = 16:30 アポイ山荘-ホテル(無料入浴／約45分) = 〈日高自動車道〉 = 19:00~20:00 札幌駅北口・解散</p> <p>●歩程:約4時間</p>	朝 — —

※交通／移動は全て専用車になります。 = 専用車での移動 … 徒歩にてハイキング

※記載の時間は予定です。道路状況、歩くペース、天候などにより前後します。

※当日の天候、登山道状況などにより、1日目と2日目の行程を入れ替え、または予定コースを変更、短縮、中止する場合があります。あらかじめご了承下さい。

●両コースとも特に難しい箇所はありませんが、雨の後や当日雨天の場合は滑りやすくなり、ぬかるみなどで歩きにくくなります。しっかりとした登山靴など履きなれた靴でお越し下さい。スパッツも有ると良いでしょ。

●昼食は各自となります。行動中に摂れるものご用意下さい。ホテルでおにぎりの注文も可能です(2個 500円くらい)。ご希望の方はチェックイン時にお申し付け下さい。

●雨具、防寒着、携帯トイレ、クマ除け鈴は必ずご用意下さい。

●普段トレッキングポールを使っている方は携行すると良いでしょ(ダブルが望ましいですが、1本でもok)。

●行動中に不要な荷物(入浴セット、着替え、購入したお土産品など)は宿または車内に置いて行きます。軽い荷物で行動をお願いします。

●下山後の入浴については、札幌帰着時間が予定より遅くなる場合は割愛させて頂く場合があります。



かつて要所だった沼見峠。ササ腹の気持ちの良い尾根道が続く猿留山道

この時期に見られるアポイ岳の固有種・特産種



アポイアズマギク



アポイクワガタ



太平洋の海原を見下ろしながら、多くの固有種・特産種が咲き誇るカンラン岩帯の馬の背を登る(アポイ岳)

アポイ岳登山と猿留山道 持ち物リスト

	品 名	数 量	チ ケ ッ ク	備 考
1	登山または 軽ハイキング用の靴	1組	○	防水性の良いゴアテックスや皮革製の軽ハイク靴など。出きればハイカットの靴で、履き慣れたものを。移動用と兼用でも可。
2	タウンシューズ	1組	△	移動時に履く運動靴やスニーカーなど。登山靴兼用も可。
3	旅行かばん（小～ 中）	1個	○	行動中、車に預ける荷物入れ用。バッグやスーツケースでも良い。
4	ハイキング用ザック	1個	○	ハイキング時に背負うザック。目安は容量 20～35 リットル程度の日帰り用。
5	雨具（上下）	1着	○	出来るだけしっかりとしたゴアテックス製の上下セパレート型が良い。ウインドブレーカー代用可。防寒着としても活用します。
6	薄手ダウン ジャケット（防寒 着）	1着	○	5月末はまだ朝夕と冷え込む日があります。雨、風が強いと稜線で吹き露しになり体感温度も下がるので、薄手のダウンジャケットやフリースジャケット等の防寒着は必ずご用意下さい。雨具兼用でもOK。
7	衣類（着替え）	適数	○	長袖シャツ、Tシャツ、スラックス、下着、靴下、着替えなど。
8	帽子（日除け防止用）	1個	○	好天時、強い日差しを遮るためにつばのある帽子をご用意下さい。
9	手袋（薄手・厚手）	2個	○	薄手と気温が低い時のために厚手もご用意ください。
10	サングラス	1個	△	好天時、強い紫外線から、目を保護する為に有ると良いでしょう。
11	水筒（テルモス）	1個	○	容量 1～2 リットル程度。ペットボトルでも可。 温かい飲み物を持ちたい方はテルモス（魔法瓶）も重宝します。
12	ヘッドライト	1個	○	万一、薄暗くなつてからの下山やトラブルが有った場合に備えて、必ずお持ち下さい。登山やトレッキングでは必携です。予備電池も。
13	洗面用具	適数	○	浴衣、タオル、バスタオル、歯ブラシ、シャンプー類は宿泊施設に部屋のアメニティとして付いています。
14	筆記用具	適数	○	メモ帳やボールペンなど。
15	お財布・クレジットカード	適数	○	クレジットカードは便利です。保管に気をつけましょう。
16	携帯電話	1個	○	お持ちの方は緊急の連絡用に携行して下さい。
17	健康保険証 旅行保険証書	1枚	○	旅行中の病気・怪我・事故に備えて健康保険証は必ずお持ち下さい。旅行保険に加入の方は証書もお忘れなく。
18	携帯トイレ	適数	○	北海道の山では携帯トイレの携行を強く推奨しています。アポイ岳の登山道には携帯トイレ用ブースがあります。
19	スパッツ	1組	△	雨天時にぬかるみ対策用としてあると便利でしょう。
20	折り畳み傘	1本	△	林道歩きなど、差し支えの無い道では、小雨の時にさしていただいてもかまいません。登山に持参するかは各自でご判断下さい。
21	虫除け・かゆみ止め	適量	△	この時期、気温が上がれば、沢沿いの登山道や稜線、湖畔、湿地帯などにブヨや蚊などが発生します。
22	日焼け止め	適数	△	強い紫外線と乾燥から肌を守るために。リップクリームも。
23	ストック(杖)	1組	△	普段、山歩きに使用している方はお持ち下さい。伸縮式が収納出来て便利です。
22	医薬品・マスクなど	適数	△	持病の特別な薬など各自ご用意下さい。歩行中のマスクについては、各自でご判断下さい。
23	ザックカバー	1枚	△	ザックの防水用レインカバー。歩行中の急な降雨に備えて。
24	カメラ・ビデオ	適数	△	予備電池、充電装置も忘れずに。
25	嗜好品・おやつ類	適数	△	初日、移動途中に道の駅とコンビニに立ち寄りますので購入可能です。ホテルの売店にはあまり行動食になるものは売っていません。普段愛用している行動食などあれば事前にご用意下さい。

※上記のリストはあくまで参考として御利用下さい。 ○:必要なもの △:あると便利なもの